

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議次第

日 時：平成27年9月7日（月）10：00～

場 所：北広島市福祉センター2階会議室

1 開 会

2 報 告

1) 第1回会議概要

3 議 題

1) 焼却施設の事例紹介

2) 評価項目の考え方

3) 評価項目の事例

4) その他

4 閉 会

第2回焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 会議概要

日 時	平成27年9月7日（月） 10時00分～12時00分
場 所	北広島市福祉センター 2階会議室
出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
会議要旨	<p>1 報告1) 「第1回会議概要」について説明を行い、報告済としました。</p> <p>2 議題1) 「焼却施設の事例紹介」 焼却施設の事例としてDVDにより千歳市環境センターを紹介しました。</p> <p>3 議題2) 「評価項目の考え方」 資料により候補地選定の流れと評価項目の例について事務局から説明を行い、質疑・意見交換を行った後、委員の了承を得ました。</p> <p>4 議題3) 「評価項目の事例」 資料により和歌山県有田周辺広域圏事務組合の事例を紹介し、質疑・意見交換を行った後、委員の了承を得ました。</p> <p>5 議題4) 「その他」 次回会議について10月16日（金）10時から、南幌町役場会議室での開催で調整する旨了承を得ました。</p>
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 報告 1) 第1回会議概要 事務局から、第1回会議次第・概要について説明。</p>
委員長	事務局から前回の会議概要について説明がありましたが、ご質問、修正点等ありましたらお願いします。
A委員	前回の会議資料をあらためて拝見した。基本的には現状から今後のごみ量を推測し、施設の規模や処理能力を考えるのは当然のことと思う。ただ、現在の計画の数量を見て、ごみの削減、分別の提案等をもっと推進できないのか、その検討の必要はないのかということ考えたが、いかがなものか。
委員長	今の発言に関し、将来のごみ量の見込みについて事務局の見解をお願いします。
事務局	ごみ処理量の推計は、各自治体の基本計画の数字に基づき作成しております。今後組合において基本設計、実施設計を行う際、大きくごみ量が変わるような施策が各自治体である場合は、反映させたいと考えております。
委員長	ごみの削減については、各自治体でもいろいろ策を考えておられると思います。計画の数値については、今のところ拠り所となるものが他に無いということで、事務局でも各自治体の動きを見ながら修正するということもあり得るのではないかと思います。
B委員	ごみの減量化に関しては、やはり各市町の行政の範囲内で検討するしかないのでは。この検討会議は、あくまでも焼却施設の候補地を決めていくための会議なので、ごみの減量化という議論をする場ではないと思う。
委員長	この会議の位置付けは、確かにおっしゃるとおり。ただ、せっかくいろんな市町の方が集まっておられるので、何かいいアイデアがあれば参考にさせていただくというようなことも良いかと思います。その意味では、あくまで会議の役割は評価項目の検討ですが、広く

	ご意見をいただいて、参考となるものは是非お聞かせいただくということで進めさせていただきたいと思います。
	3 議題 1) 「焼却施設の事例紹介」 焼却施設の事例として、DVDの上映により千歳市環境センターを紹介。
C委員	今後できる施設もこのような感じになるとしてよろしいか。それとも全く違ったものになるのか。
事務局	焼却施設については、千歳市がストーカ式という焼却方式を採用していますが、だいたい似たような形になります。施設規模、処理能力が少し小さくなります。
	2) 「評価項目の考え方」 事務局から、資料1～8ページ「評価項目の考え方」により説明。
委員長	「評価項目の考え方」ということで1次選定2次選定を含め3次選定の評価項目の関係を説明していただきました。スケジュールによれば、今回は評価項目の考え方と事例を紹介いただいて、次回次々回で詳細に項目の中身を詰めていこうという計画です。これに関し皆さんご意見ご質問ありましたら是非お願いしたいと思います。
C委員	資料はあくまでも3次選定の例で、この34番のメッシュの赤く塗った地点に決まった訳ではない、ということではよろしいか。
事務局	あくまでも例です。
委員長	このように決まります、というイメージですね。説明のあった資料5～7ページには評価項目例として5つの分類がありますが、例えばこれに追加するような項目は無いか、あるいはこれはどういう意味か、というものがあればお聞かせいただきたいと思います。
D委員	2次選定項目の中で、それぞれ住宅等から一定距離以内というような表記があるが、この一定距離というのはどのような考え方か。
事務局	例えば、住宅や施設を中心として半径500メートル以内ですとか、300メートル以内ですとか、その範囲内については建設用地に適さない場所として除外する、というものです。地図上に住宅等を中心とした半径数百メートルの円を描いていって、その円に被らない部分が建設可能な場所の一つと考えられる、という考え方です。
D委員	一定距離の具体的な数字というのは、これから検討していくということか。
事務局	他の自治体等を参考に、何百メートルという数字は出しています。今後2次選定の結果を報告させていただくときにははっきりした数字をお話できると考えています。
委員長	数値はだいたい決まっているということですね。
C委員	資料6ページの周辺環境に関する評価項目として「水源までの距離」とあるが、この水源というのはどういう意味か。

事務局	上水道の水源が近くに無い方が良い、という意味です。
C委員	資料6ページ、インフラ整備状況として電気等が整備されている方が良いということだが、例えば、全然家が無いような原野であれば、逆にインフラが整備されているということが無いのではないか。建設候補地に後からそういうものを整備するという考えではないのか。
事務局	あくまでも候補地は住宅地から離れた場所になると思いますが、各候補地を比較する段階で、どこまで整備されているか、その距離等を比較する、という考えです。
E委員	資料8ページ、34番のメッシュの赤く塗られた場所は、5ページの「想定震度」でいう活断層について専門的な部分から調べてあるということか。
事務局	資料では34のメッシュに赤い印がついていますが、これはあくまでイメージということで、その場所で決まったということではありません。 震度については、活断層から1キロまたは1.5キロ以内の場所は、活断層の真上ではないが、建設の場所としては不適當ということで除外した方が良いのではないかと考えています。文献や他の組合等を参考にしまして、活断層から何キロ以内については除外することを参考に決めていくこととなります。
E委員	近いうちに、現地視察はあるのか。
事務局	2次選定で数箇所の候補地が決定しましたら、委員の皆様と車で現地を廻りたいと考えております。
委員長	今の活断層の件は、活断層からは離れていたほうが良い、という程度かと私は理解していますが、その意味では耐震対策ですとか、そちらの方が大事になるかなとも思います。 周辺環境ですが、この1次選定で選ばれた地域というのは、例えば景観とか、周囲からの見え方とか、そういうものはあまり関係ない地域と考えてよろしいのでしょうか。
事務局	評価項目例はあくまで例として挙げていますが、今後実際に組合として項目案を作成し、委員の皆様「これが必要じゃないか」、「これはいらぬんじゃないか」ということを検討していただきたいと考えています。 後程説明する有田周辺広域圏事務組合の評価項目には、眺望等も入っています。
委員長	場所によってはそういうこともある程度考えたほうが良いのかな、というのもちよっとありましたので、聞かせていただきました。
A委員	ごみの運搬に関する評価項目例が6ページ③で挙がっているが、収集運搬費用に並んで廃棄場所の立地についても項目としてあってはどうか。最終処分場は決まっているのか。
事務局	現在は焼却施設の建設運営ということで平成36年度の稼働を予定していますが、最終処分場の検討はまだこれからの話でして、当面は新しくできた焼却施設で各自治体のごみを燃やし、そのごみ量に応じた灰を各自治体の処分場に持ち帰る、という予定です。
A委員	各自治体へ持ち帰る費用もここに合算して見ているのか。
事務局	こちらはあくまでも収集運搬ということで、ごみを集めて、新しい焼却施設に持って行くまでの運搬経費ということになります。

委員長	7 ページ④の項目「周辺施設との連携」について、これも計画が決まっていれば評価項目として入ってくるのかなと思いますが、そういう計画が無いとなかなか評価しにくいのではないかと思います。周辺施設として熱供給の話もありましたが、その他に何か具体的なものを想定していますか。
事務局	特に想定はしていません。東京都武蔵野市が街の中心に焼却施設を建てることになりまして、焼却施設のすぐ横に市役所や運動場等があります。そういうものも考えて、一般的な例ということで周辺施設との連携というものも入れております。
F 委員	確認だが、最終処分場は各市町で造るということになるのか。現在ある処分場は全く別に考えるということか。
事務局	平成36年に焼却施設が稼働した時点では、まだ各自治体の方で処分場に若干の余裕がありますのでそちらに持っていきますが、将来的には各自治体の最終処分場の更新年次等も検討しまして、広域でできるかどうかという事も検討することになります。
F 委員	焼却施設ができた将来、各市町が持ってきたごみの分の灰を持って帰らせるような話をしていたので、各市町で施設を造らなければならない、そう考えたが。
事務局	最終処分場についても集約していくのが一番効率が良いので、将来的に最終処分場を2市3町で造っていきましょうか、という検討も必要かと思いますが、それまでは各自治体の処分場がありますので、そちらに灰を持って帰りましょう、ということです。
F 委員	将来造るかどうかはまた別ということか。承知した。
G 委員	今、2市3町と言ったが、栗山町は入っていないのか。
事務局	栗山町の組合加入については、各市町長の下承は得ていますけれども、今後関係市町議会の議決と道の許可を得る必要がありますので、現段階では2市3町と言わせていただいております。
	3) 「評価項目の事例」 事務局から、資料9～13ページ「評価項目の事例」、資料別冊「有田周辺広域圏事務組合新ごみ処理施設建設候補地選定委員会答申資料（抜粋）」により説明。
委員長	私から一つ確認ですが、今回もこういう考え方に従って出した項目について、点数化したほうが良いという考えでしょうか。
事務局	それについてもこれから検討しなければならないと思っております。
委員長	点数化が良いのか、そうでない抽象的なほうが良いのかという部分についてもこれから決めていくということですね。
事務局	いろいろ方法はあると思いますが、やはり数値化するのが一番わかりやすいのではないかと考えています。
委員長	それができれば良いとは思いますが、疑問として「なぜこれが2点であれが1点なのか」というような、その理由がはっきり説明できるのか、という部分はあります。

G委員	点数をつけるとなると、私達委員がつけるのか。
事務局	委員の皆さんにつきましては、今お話ししました選定項目について検討していただき、配点等につきましては、また別の形の委員会等が必要かと考えています。
委員長	資料別冊4ページの表でいうと、例えば選定項目に「①土地利用条件」とありまして、比較要件として「周辺の留意すべき土地利用」とありますが、その部分はやらなくて良い、項目だけ挙げれば良いということですか。
事務局	選定項目も比較要件も必要になると思います。
委員長	こういう観点からこの項目で評価します、というところまで言わないといけないと思います。
B委員	これから建設候補地が決まるにあたり、施設を建てる経費について道の補助金、国の補助金、各市町の負担等についてわかる範囲で教えていただきたい。
事務局	施設建設費と、必要最低限の造成については防衛省の補助がいただける見込みですが、その他の取付ですとか電気の引き込みですとか、そちらのほうは単独といいますか、組合の持ち出しになるのではないかと考えています。
B委員	道路や電気、水道というのは全部組合で考えるということか。
事務局	今のところはそうに考えています。補助が貰えればいただきますが、それ以外については組合で負担する方向しかないのかなと考えております。
G委員	防衛省の補助金というのは、全体のどれぐらいのものなのか。
事務局	防衛施設のある千歳市、長沼町のごみ量が、組合全体のごみ量に対して70%を少し切るぐらいでして、補助はその半分になりますので、施設建設費の34~35%ぐらいではないかと考えています。
B委員	これも先の話だが、施設ができた後の経費は、各市町のごみの量等で積算して、各市町に割り当てるとする考えになるのか。
事務局	負担割合も今後の検討になりますが、施設建設費、維持管理費について、まずは2市3町で均等に負担する関係市町割という分がありまして、そのほかにごみ処理量割として各自治体のごみの量で按分していくという形になります。
B委員	私達は、今この検討会議ではそういう費用とかではなくて、あくまでも場所ということで考えていけば良い、ということが良いか。
事務局	あくまでも焼却施設の建設候補地の選定のための評価項目を検討していただくということですので、よろしくをお願いします。
F委員	今回は有田周辺広域圏事務組合の例が紹介されたが、これはあくまでもこの事務組合で使った評価項目ということで、今後検討する評価項目は私達が独自で作るということか。それともこれをおある程度利用するということになるのか。

事務局	これはあくまでも有田周辺広域圏事務組合の評価項目ですので、組合としてはいろんな組合の項目を参考にして、素案を考えていく予定です。これをそのまま使うということはありません。
A 委員	我々は項目の選定という意味合いでこの会議にいる、という認識は理解した。であればやはり項目の重み付けについては我々の意見を反映したらどうかと思うがいかがか。
事務局	今回の会議では3次選定の例として、有田周辺広域圏事務組合の評価内容を見ていただきましたが、次回の会議では当組合の評価項目案をお示したいと思っています。その案を説明させていただいてご意見をいただき、次回で決定するというのではなく、いろいろ検討していただければと思います。先程栗山町の話がありましたが、各自治体に、9月中の議会で組合加入に関する議決をしていただくことをお願いしております。それが順調に進んだ場合、10月に道に許可の申請をし、それが下りれば正式な組合加入ということで、あくまでもこれは想定ですが11月にはそれが明らかになると思っています。そうしますと、その時点で2次選定の結果を公表できることとなりますので、この会議においては次々回に2次選定結果を示せば、と思っています。そうすると具体的な候補箇所が出ますので、それに基づいた評価項目を加えたり、或いはご意見を具体的に示していただけるのではないかと思います。その中で、どういう点に重きを置いたら良いか、というご意見も当然あると思いますので、それを十分に拝聴させていただきたいと思っています。
委員長	ありがとうございました。予定した議題は以上です。最後に事務局から連絡事項があればお願いします。
事務局	次回第3回の会議については10月16日(金)10時から、会場は南幌町役場会議室で調整し、お知らせします。
	4 閉会

別紙 出席者名簿

1 焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委員長	吉 田 淳 一	識見
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	沼 田 常 好	千歳市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	中 川 勝 美	千歳市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	副委員長	麻 生 昌 裕	北広島市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	小 池 隆 史	北広島市
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	三 步 幸 光	南幌町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	佐 藤 秀 雄	南幌町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	榎 本 義 隆	由仁町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	窪 田 秀 治	長沼町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	菊 澤 巧	長沼町
焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議	委 員	工 藤 公 雄	公募

2 組合事務局等担当職員

所 属	職 名	氏 名	備 考
道央廃棄物処理組合事務局	局 長	平 仁 志	
道央廃棄物処理組合事務局	次 長	井 上 晴 雄	
道央廃棄物処理組合事務局企画課	課 長	伊 藤 樹 美	
道央廃棄物処理組合事務局施設課	課 長	武 内 洋 之	
道央廃棄物処理組合事務局企画課企画係	係 長	小 川 大 輔	
道央廃棄物処理組合事務局施設課施設係	係 長	村 中 康 之	
株式会社エイト日本技術開発		長 尾 竜 二	
株式会社エイト日本技術開発		中 山 伸 吾	